

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2017年9月2号

9月19日、大分市議会第3回定例会は、予算議案、一般議案、請願などの各常任委員長報告、質疑、討論、採決が行われました。市議会後半は平成28年度の決算審査が行われます。私の一般質問の要旨などを紹介します。

国保税額の第3回試算公表を

前年比で一人当たり7,119円の減額



福間議員—来年から導入される国保・都道府県化に向けた第3回の試算結果を公表すること。また保健事業の統一化で検討されている針灸事業の助成縮減はやめること。

(国保問題で質問する福間) 市民部長—大分県から示された本市の国保税額の試算は、国保加入者一人当たり99,722円。平成28年度実績に比べ7,119円の減額となる。平成30年度試算は11月に大分県がおこなう試算を元に平成30年度の国保税率の見直しを検討する。

はり・きゅう等の助成を国保事業で実施する場合は加入者一人当たり500円の上乗せが必要となることから、今後の在り方について検討中である。

九州北部豪雨の教訓を防災対策に

福間議員—7月初旬の、福岡、大分両県を襲った北部豪雨被害の教訓を大分市に生かす立場から以下の4点について、質問しました。



(久大線陸橋崩落現場にて)と土木建築部長答弁。

●ため池の決壊対策については、「大分県と連携し、地域の防災意識高める取り組みの中で、ため池下流域の安全対策に努める」と農林水産部長答弁。

●孤立集落への通信手段の確保については、「救命救助や被害状況の把握等には、情報伝達手段の確保は大変重要。携帯電話会社への中継車の配備要請、自衛隊の物資搬送と併せ衛星携帯電話の配備、今後ドローンによる中継局の活用も視野にいれ、様々な状況に対応する情報伝達手段の確保を検討する」と総務部長答弁。

●生活再建の支援については、「1日も早い被災者の生活再建、被災地の復旧・復興に向けた取り組みを強化・加速するため、被災者生活支援金の支給適用要件の緩和、被災住

●河川の水位計設置については、「国・県・気象庁、流域市町村で組織する、「大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会」で、その必要性も含め意見を聞く中で整理していく」

宅の応急修理の上限引き上げ、店舗・工場・事業所などの商工業の復興に向けた支援について、6月と8月に全国市長会を通じ国に要請してきた」と福祉保健部長答弁。

市営住宅の畳替え早期実施を



福間議員—公営住宅法第21条は、「修繕する必要があるときは、遅滞なく、修繕しなければならない」と定めている。市住宅課と大分生健会の協議では、市営住宅入居者

(市住営繕要求する福間) より、畳替えの切実な要求が出された。畳替えの予算を増額し早期に実施すること。

土木建築部長—「他の営繕工事とのバランス等を考慮しながら予算の確保に努め、可能な限り対応したい」

平成29年9月補正予算が賛成多数で可決

就援・入学準備金小学生も前倒し支給が予算化

私が、市議会再三要求してきた子育て世帯の願いが実現します。予算額は2900万円です。対象は平成30年新入学予定者約700名、支給単価は40,600円です。

今年度の中学生に続いて実施されます。就学前の3月に支給されます。

大企業優遇・無駄遣いにはキッパリ反対

進出大企業の設備投資や本社機能を大分市に移転させる企業への企業立地助成金は約5億8千万円。また城址公園活用事業として、13日間に2500万円も投入して、実施されるイルミネーション事業予算などに反対しました。

———地域の願い実現



見通しが悪く交通事故も発生していた三ヶ田町カーブミラーが張り替えられ、見やすくなりました。

———地域の願い届ける



上田町の高齢障害者家族より、道路の亀裂で、車の音で夜眠れないとの声があり、市に改善を申し入れました。

喜びの声—障害を持ち施設入所している息子さんの「障害年金が決定した」と父親より喜びの声がとどきました。

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

